

令和3年度第1回枚方市環境審議会地球温暖化対策実行計画策定部会における意見要旨

(1) 部会における意見等に対する回答

	委員の意見等	回 答
1	資料2「市民アンケート（案）」の問5の選択肢1「農作物の収穫時期あるいは栽培時期が変わったこと」があるが、一般市民としては実感しにくい項目と感じるが、農業に関わる方（農業事業者）が含まれるという認識で良いか。また、農作物の高温障害について、質問した方が良いのではないか。	農業に関わる方（農業事業者）も含まれているほか、家庭菜園をされている方など、生活する中で、感じるがあれば広く聞きしていきたいという意図があり、選択肢として加えた。
2	資料2「市民アンケート（案）」の問14について、国及び枚方市が行った2050年ゼロ宣言の認知度ではなく、別項目として、この宣言を聞いてどう感じるのか、どのような変化があったのかを質問する方が良いのではないか。そうすることで、事業者アンケートの質問と合わせることができないのではないか。	枚方市の宣言に対する市民の認知度を知りたいという意図があり、市民アンケートの項目に入れたが、2050年に向けての事業者と市民の意識もしくは行動についての比較をするため、事業者アンケートの質問と合わせる。
3	ワークショップの方法とワークショップ前の導入説明（脱炭素やSDGs等）はあるのか。	環境基本計画策時と同様、付箋に書いた意見についてグループで議論し、発表してもらうという方法を検討しており、これから花田会長と大学生と調整していく予定である。また、導入説明として、枚方市の地球温暖化対策をめぐる状況の説明や基礎知識についての説明をする予定である。
4	ワークショップ前に、SDGsのカードゲーム等を実施することで、脱炭素やSDGsの知識を入れてもらえば、その後のワークショップの議論も深まるのではないか。また、発言しやすい雰囲気も作ることができるのではないか。	ワークショップの事前説明のほか、SDGsについての解説、本市における地球温暖化をめぐる状況、これからの取り組みなどの説明を行った後、アイスブレイクとして環境クイズなどを実施する予定。
5	資料8「計画の基本的事項と施策の方向性の考え方について」の「新計画の施策の方向性」の基本方針1に、水素やメタンなどといった新エネルギーへの転換も盛り込んだ方が良いのではないか。また、カーボンリサイクルや技術革新による二酸化炭素の吸収・固定化など多様な技術革新を、可能な限り活用していくのが良いのではないか。	新エネルギーへの転換については、基本方針1に盛り込むことを検討させていただく。また、カーボンリサイクルや二酸化炭素の吸収・固定などの今後の技術革新について、国の動きや制度を活用しながら、目標達成に向けて取り組んでいくことも必要であるため、何らかの形で計画に位置付けていく。

	委員の意見等	回 答
6	本議論は、区域施策編の議論という認識で良いか。また、資料1「地球温暖化対策をめぐる社会状況の変化について」において、地域脱炭素化促進区域や事業の設定とあるが、新しいまちの開発をする際に脱炭素を念頭に置くなど、そのような検討はするの か。	本部会では、区域施策編の議論をさせていただくなかで、市として取り組むべきものなどを検討する。また、地域脱炭素化促進区域や事業の設定等の方向性については計画で盛り込んでいきたいと考える。一方で、事務事業編については、市において、検討を行い、別途策定していく。
7	「緑の質」について、今ある里山や街路樹などの樹木樹林が健全に育成されているかといった視点が必要と考える。資料8「計画の基本的事項と施策の方向性の考え方について」の基本方針3において、緑の保全だけでなく、創造や創出、管理等といった視点を盛り込むことで、地球温暖化対策に対する緑の効果が発揮できるのではないか。	二酸化炭素の吸収源となるのは、適切に管理されている森林が対象となるため、今ある里山や街路樹の管理や、健全に育成されているかといった視点について、計画に盛り込むよう検討する。
8	2050年の二酸化炭素排出量ゼロに向けて、バックキャストという方法で、2030年、2040年までにどうしていくのかという視点と、目標達成に向けて予算確保も必要であるため、そのような視点からも考えていただきたい。枚方市としてどこまでできるのか、バックキャストで上乗せするなど、何か考えなければいけない。	国や府の目標、そのなかで枚方市としての役割、さらにはバックキャストなど、様々な手法により、目標を設定していきたい。

(2) 部会における意見等に対する今後の方向性

	委員の意見等	今後の方向性
1	国の地球温暖化対策計画の部門別削減目標が発表されるのを待ち、大阪府の温暖化対策実行計画の削減目標（40%）の見直しを行う予定であるため、枚方市の削減目標の設定に参考にしていきたい。	削減目標については、国、府の計画との整合性を図り、かつ委員の皆様の見解等を踏まえ、設定していきたい。
2	アンケートは Web で受け付けると回答率が上がるのではないか。	高校生アンケート、地球温暖化対策協議会会員事業者アンケートについては、Web での受付を検討している。（結果的には、WEB と紙のアンケートの併用より実施。）
3	2050年のゼロに向けて、吸収源である緑を増やすということが市民としては重要と考える。	緑を増やすとともに、緑の質の保全についても検討していきたい。